

**海老名市立大谷中学校 学校運営協議会 議事録**  
**(令和3年度 第1回)**

- 1 日時 令和3年6月30日(水)15:00～16:00
- 2 場所 海老名市立大谷中学校 校長室
- 3 出席委員 熊澤美恵子委員長、藺口美佐子委員、遠藤俊枝委員、岩崎佐容子委員  
吉田存委員、吉田守委員、村松かおり委員、竹島和也委員

**4 会議の内容**

**(1) 学校長挨拶**

村松校長：新年度の挨拶とともに、会議録を残し海老名市 HP 上で公開する件を確認

**(2) 令和3年度の学校経営方針について**

村松校長：令和2年3月第3回学校運営協議会において、今年度の学校経営方針が承認されたことを踏まえ、重点目標等を再確認。

藤原教諭：教育課程【年間計画】の説明

村松校長：修学旅行等の延期と教育課程上の扱いについて説明。授業時数については、例年の日課で確保できる予定。

**(3) 意見交換**

**① 新学習指導要領全面実施に伴う評価**

村松校長：3観点についての説明。「主体的に学習に取り組む態度」について、授業の在り方に基づき検討していく。

**② G I G A スクール構想**

竹島教頭：Chromebook の説明（保管方法、使い方、接続等）。授業等での活用を始めた。持ち帰りを実施し、Wifi 環境の整備状況についてアンケート。

村松校長：運用における詳細ルール等は、今後使用する中で決めていく部分もある。

吉田守委員：持ち帰りは日々行っているか？

村松校長：現状は学校で設定した1泊2日のみ。今後、改めて計画していく。

**③ 働き方改革**

村松校長：中学校教員の超過勤務になりがちな仕事量と負担の削減を検討する必要がある。教員支援にあたる SSS（スクールサポートスタッフ）の役割について説明。

竹島教頭：生徒が行えない清掃箇所にも SSS が対応。勤怠管理システムによる勤務時間の計測で、ほとんどの職員が超過勤務となる現状を改善していきたい。

吉田守委員:働き方については特効薬がない。超過勤務になるのが当たり前と捉えている。先生は責任感が強いので具体的な対策がないと改革は難しいのでは？

吉田存委員:先生方の仕事内容は分担しづらいところがあり、難しいのでは。

竹島教頭:昨年度、留守番電話設定に切り替えられる形になったため、放課後の時間に教員が事務処理にかける時間を増すことができた。

園口委員:留守電にしたことで、保護者が学校へ電話をしようとする際、一旦間を置き落ち着いて考える時間が生まれることもある。

吉田守委員:外部から人を入れることで、仕事内容の精選を図れるのではないか。

村松校長:「大切にしなければならないこと」を残すことは大事にしたい。

熊澤委員:中学校では部活動を持つ職員の負担が一番大きい。報道を通して世間でも認知されてきたように思う。

吉田守委員:PC等の利用が進むと、事務処理に係る時間が変わるのでは。

竹島教頭:部活動顧問は、指導後に事務処理することになる。民間企業の場合は？

吉田存委員:時間調整して、翌日に持ち越すこともできる。

吉田守委員:部活動指導員等の導入で負担軽減されたか？

村松校長:軽減はされている。また、土日も含めた活動時間の見直しも行っている。部活動による成長は確実にあるので、負担感とのバランスも考えたい。

吉田存委員:ベテランの方が早く帰れる？

竹島教頭:スキルを考えると、若手の方が学校に残る傾向がある。

吉田守委員:民間企業は大きな改革をしやすいが、仕事内容の精選がしづらいため学校現場での改革は難しい。生徒が関わることで削れないことが多い。先生自身が生徒のために、自分を犠牲にしてやっているのではないか？

村松校長:「思い」があるから、時間がかかってしまうこと実態はある。共通する資料は役割分担し作成する等、時間短縮を図っている。

吉田存委員:中身を求めるあまり、作り込み過ぎて時間がかかってしまう面もある。

園口委員:中学校は良い現場。保護者として関わってきた時に楽しかったのは中学校。

#### ④ 感染症対策

村松校長:7月1日から、地域の感染レベルが「レベル1」に戻ることに、それによる対応の変更点を説明・確認。

園口委員:1年生の稲作体験、田植えはできたか？

村松校長:6月17日(木)実施。今後草取り・稲刈りを予定。収穫祭は厳しい。

#### (4) その他

第2回学校運営協議会は、令和3年12月14日(火)15:00から開催予定